

ニュースリリース

2019年 8月 8日

日鉄エンジニアリング株式会社

国内最大のバイナリー方式地熱発電所「(仮称)南茅部^{みなみかやべ}地熱発電所」の受注について

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原真一、本社：東京都品川区）は、オリックス株式会社（社長：井上亮、本社：東京都港区）が、北海道函館市南茅部地域において建設を計画する「(仮称)南茅部地熱発電所」向けのバイナリー発電及び熱源設備一式（以下、「本設備」）をフルターンキー契約（設計・調達・施工・試運転の一括請負）で受注いたしました。

本設備の発電出力は6,500kW とバイナリー式地熱発電^{*1}では日本国内で最大規模となります。当社はこれまで数多くの大規模地熱発電所の蒸気生産・熱水還元設備や、さまざまな発電設備の建設・操業に携わってきており、その実績が評価されて受注にいたったものです。

なお、本設備には、当社が2016年に米国TAS Energy Inc.（CEO: J.T. Grumski、本社：テキサス州ヒューストン）から導入した技術・ノウハウも活用されています。

国内に豊富な資源を有する地熱発電は、2018年7月に閣議決定された「エネルギー基本計画」においても長期安定的な電源の一翼を担う再生可能エネルギーとして期待されており、現在官民が連携して利用拡大を推進しております。

当社は、これまで培ってきた蒸気生産・熱水還元設備やバイナリー発電設備の地熱関連技術を通じ、今後とも地熱発電の更なる利用拡大に向けて貢献してまいります。

■事業概要

発電所名	(仮称)南茅部地熱発電所
所在地	北海道函館市臼尻町 722 番他
発電出力	6,500kW (予定)
年間発電量	最大約 56,940,000 kWh 一般家庭約 18,250 世帯分の年間消費電力に相当 ^{*2}
運転開始時期	2022 年初春 (予定)

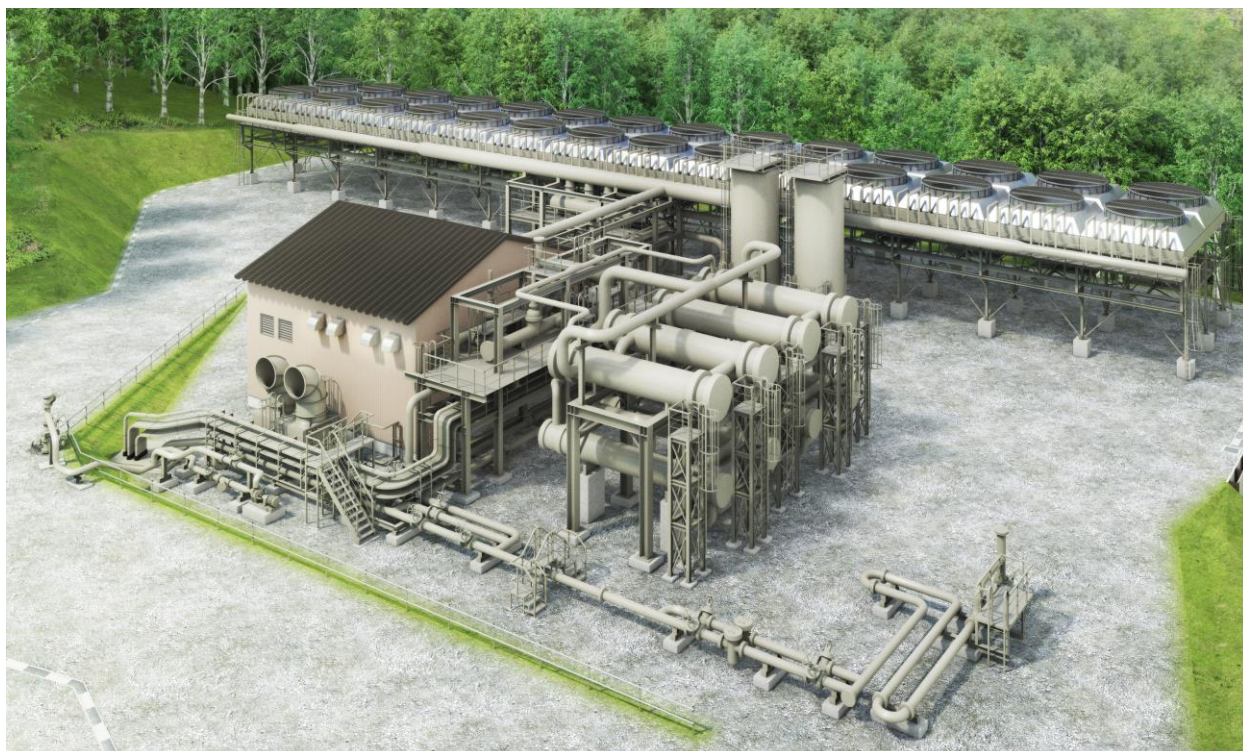
*1：地下から取り出した熱水によって、沸点が水より低い媒体を蒸気化しタービンを回転させることで、発電する方式

*2：1世帯当たり約 3,120kWh/年で算出。(出典：東京電力「平均モデルの電気料金」)

■設備概要

- ①熱源設備 : 生産井から熱交換器までのパイプライン、熱交換器、
熱交換後の熱水を地下に戻す還元ライン等
- ②バイナリー発電設備 : タービン、発電機、空冷凝縮器 等
- ③設備建屋 等

■「(仮称) 南茅部地熱発電所」(完成イメージ)



【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 : 03-6665-2366

URL: <https://www.eng.nipponsteel.com/contact/index.html>

以上